

河川敷清掃に汗流す

津山商と津山工高
今井橋下流吉井川 生徒有志200人

津山商業高校、津山工業高校の生徒有志約200人と地域住民らが22日、今井橋付近が



ら下流の吉井川河川敷
吉井川沿いのごみを拾
い集める高校生

の清掃に汗を流した。昨年到现在実施の「高校生による吉井川水系をきれいにする会」の活動。今井橋近くの津山河岸緑地公園に生徒有志と地域住民らが集合し、猛暑の中両岸や道路沿い約2キロ間でゴミ拾い。手に火ばさみやスコップ、ゴミ袋を持ち、土手の草の間などからペットボトル、空き缶、トレーなどごみをまなごみを約

2時間にわたって集めて回った。

高校生からは「お菓子の空き袋やたばこの吸殻が多かった」という声が聞かれた。

生徒代表の松下友香さん(津山商3年)は「昨年行って住民の皆さんから喜ばれたので、今年も実施。呼びかけに高校生が大勢集まってくれうれしい」と話していた。

河川敷をきれいに

市中心部2高校が合同清掃

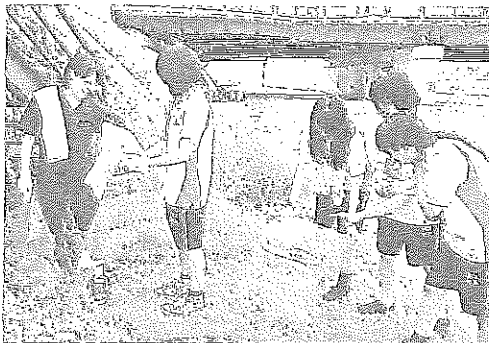
自分たちの住む地域をきれいにしようと、津山商高と津山工高の生徒ら約200人が22日、津山市中心部の吉井川河川敷などで合同清掃を行った。

津山商高生徒会長の3年松下友香さん(18)

が「8月には花火大会の会場にもなり、大勢の人が訪れる。気持ちよく楽しめるよう、みんな力で合わせよう」とあいさつ。生徒たちは今津屋橋付近の

河川敷約2キロを火ばさみとビニール袋を手に歩き、ペットボトルや弁当から、花火の燃えかすなどを拾い集めた。中には自販機のタイヤや座布団、金網もあった。

同高情報ビジネス科2年中川愛菜さん(16)は「袋に入らないような大きなゴミもあり驚いた。大切な川を守るために美しい状態を保ちたい」と話した。



河川敷のごみを集める高校生

昨年到现在実施の「高校生による吉井川水系をきれいにする会」の活動。今井橋近くの津山河岸緑地公園に生徒有志と地域住民らが集合し、猛暑の中両岸や道路沿い約2キロ間でゴミ拾い。手に火ばさみやスコップ、ゴミ袋を持ち、土手の草の間などからペットボトル、空き缶、トレーなどごみをまなごみを約2時間にわたって集めて回った。